# パネルディスカッション

司会　松　下　佳　代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）
溝　上　慎　一（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

（松下）　それでは時間になりましたので、後半のパネルディスカッションに移りたいと思います。私は本日のパネルディスカッションの部の司会を務めさせていただきます、本センターの松下佳代です。どうぞよろしくお願いいたします。

後半は、先ほどの田中センター長の基調講演に対して、これまで私たちのセンターの活動に何らかの形でかかわってこられた方々に、内からの目と外からの目との両方の視点で、センターのこれまでの活動に対するコメント、そして今後の期待などをお話しいただければと思っています。

まず、パネリストの紹介をさせていただきます。私に近い方から、田中先生のお隣が現在、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室准教授でいらっしゃる山田剛史先生です。山田先生は私たちのセンターで技術補佐員を勤めてくださったことがあり、ちょうど特色 GP を取って、センターがこれから拡大していこうという時期に非常に力になってくださった方です。その後、島根大学の教育開発センターに移られて、現職に就かれています。

続きまして、高橋哲也先生です。高橋先生は京都大学の理学研究科を修了された後、大阪府立大学に移られまして、現在、高等教育研究機構長および副学長を務めていらっしゃいます。

続きまして、夏目達也先生です。夏目先生は名古屋大学を出られまして、その後、文部省、北海道大学、東北大学を経て、現在、名古屋大学高等教育研究センターの教授でいらっしゃいます。

それから、飯吉透です。飯吉透と呼び捨てにできることを幸せに思っていますが、この 1 月から私たちのセンターの同僚になっていただきました。ICU を出られてからアメリカの方に移られ、カーネギー教育振興財団、MIT を経て、この 1 月から私たちのセンターに赴任されました。

続きまして、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室室長でいらっしゃいます樋口聰様です。樋口室長は文部省に 1995 年に入省されまして、その後、初等中等教育局および高等教育局、文化庁などを経て現職に就かれております。

最後に、次期センター長になります大塚雄作です。

本日はこの後、パネリストの山田先生から樋口様まで、それぞれ 15～20 分ぐらいの時間で、先ほどの田中センター長の基調講演に対してコメントをいただきます。その後、15 分ほど休憩を取り、そのコメントに対して田中センター長および次期センター長である大塚よりリプライをしまして、その後、またフロアの皆さまからもぜひご意見を伺いたいと思っております。それでは、パネリストは段を下りまして、まず山田先生からお話をいただきます。よろしくお願いいたします。